

授業概要

コンピュータやネットワークなどの図書館業務を行う上で必要になる情報通信技術、ならびに現在図書館がおかれている高度情報化社会についての基礎的な理解を目指して講義します。

おおむねテキストに沿って進行します。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	コンピュータとネットワーク — コンピュータの仕組みと動作 —
第3回	コンピュータとネットワーク — デジタルとアナログ —
第4回	コンピュータとネットワーク — ネットワークの仕組みと動作 —
第5回	コンピュータとネットワーク — インターネットでの情報 —
第6回	電子テキスト — 文書、出版、書籍 —
第7回	図書館システム — 概要 —
第8回	図書館システム — 各種機能 —
第9回	図書館システム — データベース —
第10回	図書館システム — 利用者と環境の変化 —
第11回	ネットワーク情報資源 — メタデータ —
第12回	ネットワーク情報資源 — PDF、Web API —
第13回	情報セキュリティ — マルウェア、不正侵入、ソーシャルエンジニアリング —
第14回	ネットワーク社会と図書館 — つながりのなかで —
第15回	まとめ — これからの図書館と技術発展 —
第16回	筆記試験

到達目標

図書館員の職務につくことを前提に、次のことの理解を目指します。

1) コンピュータやLAN など基本的な情報機器の基礎、2) 図書館業務システムの概要と関連技術、3) インターネットの概要とその図書館サービスでの利用、4) デジタル情報資源とその管理、5) 情報化社会における図書館のあり方。

履修上の注意

講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。

予習復習

事前にテキストの予定箇所を読んでおいてください。また、毎回の講義でだされるアサインメントを次回までにそれに組み込んでおいてください。

講義中に出た新しい用語について、自分の言葉で説明できるようになるまで確認してください。

評価方法

期末テスト(80 点満点・必須)と課題レポート(20 点満点・必須)を主とします。それに授業への参加状況 (アサインメントへの取り組みや積極的な質問など・最高 15 点)、任意のレポート(1 件につき最高 15 点)を加え、すべてを足して 51 点以上を合格とします。100 点をこえた場合は 100 点として取り扱います。

全回出席を原則とします。

テキスト

杉本重雄編, 図書館情報技術論, 樹村房, 2014, 208p., (現代図書館情報学シリーズ, 3), ISBN 978-4-88367-203-5.

このほか参考とすべき資料を講義中に紹介します。また、必要に応じて資料を配布します。